

令和4年度（2022年度）

管理事業名	住居表示整備事業				総合計画 の体系	大綱	-	-
						政策	-	-
						施策	-	-
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費 (目) 14	住居表示整備費
部局名	市民部	予算執行 所属						市民課
事業の目的と概要 住居表示整備事業では、住居表示に関する法律、同施行令及び吹田市住居表示に関する条例、同施行規則に基づき、誰もがわかりやすい住居表示の整備を目的として住居表示の整備や、町名街区案内板、街区表示板の整備等を行っている。								

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
住居新築届・付番申出受付件数	件	979	1,012	891	住居新築届・付番申出の受付件数
街区表示板整備件数	件	37	73	53	街区表示板の補修などの件数
町名街区案内板整備件数	件	11	13	13	町名街区案内板の修正などの件数

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1】住居新築届・付番申出受付件数についての評価 ・受付件数891件（前年比：121件の減） ・件数の減は、新築が前年より減ったため。</p> <p>【成果指標2】街区表示板整備件数についての評価 ・整備件数53件（前年比：20件の減） ・件数の減は、街区表示板の補修が前年より減ったため。</p> <p>【成果指標3】町名街区案内板整備件数についての評価 ・整備件数13件（前年比：増減なし）</p>	
---	--

III 課題と今後の取組

<p>住居新築届・付番申出受付件数及び街区表示板整備件数については、前年度より減少しているが、令和3年度については、前年度より増加していたことによるものである。</p> <p>今後も住居表示の整備と表示板類の設置を行い、各建物の所在をわかりやすくすることで、市民の生活を便利なものにする。また、住居表示台帳をオープンデータ化することで、市民への利便性の向上を図る必要がある。</p>	
---	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,304	1,695	391
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,304	1,695	391
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	15,948	14,802	△1,146
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	15,948	14,802	△1,146
無形固定資産	15,120	7,560	△7,560	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	17,252	16,497	△755
建物・工作物	-	-	-	純資産	△2,132	△8,937	△6,805
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	△2,132	△8,937	△6,805
資産の部合計	15,120	7,560	△7,560	負債及び純資産の部合計	15,120	7,560	△7,560

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
経常費用				
給与関係費	19,110	20,428	18,329	△2,099
物件費	2,439	1,742	1,907	165
維持補修費	-	494	497	3
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	7,560	7,560	7,560	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,808	1,304	1,695	391
退職手当引当金繰入額	△1,847	1,968	164	△1,803
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	29,070	33,495	30,153	△3,343
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△29,070	△33,495	△30,153	3,343
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△29,070	△33,495	△30,153	3,343
一般財源充当額	25,034	25,816	23,348	△2,468
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,036	△7,679	△6,805	875

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	25,034	25,816	23,348	△2,468
行政サービス活動収支差額	△25,034	△25,816	△23,348	2,468
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△25,034	△25,816	△23,348	2,468
一般財源充当額	25,034	25,816	23,348	△2,468
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 無形固定資産	住居表示台帳システム(ソフトウェア)の減価償却による減 7,560千円
【PL】 給与関係費	職員人件費の減 2,099千円
【PL】 物件費	需用費の増 165千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民一人あたりのコスト	77円	88円	79円
実績	376,944人	378,781人	381,238人
コスト	円	円	円
実績			

分析 市民一人あたりのコストは79円で、令和5年3月31日現在の吹田市人口に基づいて計算している。
内 前年度より9円コストが減少したのは、主に給与関係費の減少による。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	20,188	163	2.54
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	-	-	-
合計	20,188		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		-	-	-	-
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0